

# 議会だより

NO.282



## 委員会レポート

### 経済厚生常任委員会

経済厚生常任委員会は、所管事務調査として、5月26日から29日の日程にて道外行政視察を行いました。

#### 一. 『少子化対策の取り組みについて』 岡山県奈義町

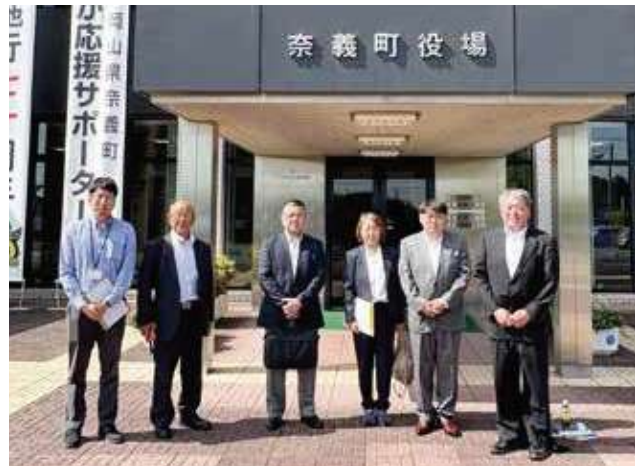
少子化対策として行っている地域に根ざした子育て環境づくりについて、支援内容や住民連携による取り組みを視察しました。

奈義町では子どもたちが安心して健やかに育つ環境の整備を目的に平成24年に「奈義町子育て応援宣言」を策定し、若い世代の定住促進と出生数の維持を図っています。

医療費の無償化などの経済的支援、地域住民による見守り活動や交流の場づくりといったメンタル的支援、さらに住まいや雇用の提供など、生活基盤の整備を二本柱とする包括的な取り組みが進められています。

一時的な支援にとどまらず、子育て世代が「この町で暮らし続けたい」と思えるような地域全体で支える体制づくりが印象的であり、町全体の一体感が施策の実効性を高めている

現状が確認できました。



#### 二. 『農福連携の取り組みについて』 兵庫県

障がい者の就労支援と農業分野における人材確保の両立を図る農福連携の取り組みについて、県の支援体制や現場での運用方法を視察しました。

兵庫県では、農業経営体と福祉事業所をつなぐマッチング支援を専門人材が担い、障がいのある方一人ひとりの特性に応じた作業内容の調整が行われています。また、

農機具購入や技術習得への助成、現場で支援を担うコーディネーターの育成など、制度面だけでなく人的なサポート体制も整備されています。

農業の担い手不足と福祉の課題解決を同時に進める先進的な取り組みとして大変参考になりました。



#### 三. 『就農支援の取り組みについて』 兵庫県

兵庫県では新規就農者の確保と育成を図るため、制度的支援と地域密着型の取り組みを組み合わせ

た包括的な就農支援策を展開しています。

地域のアグリサポート推進事業として実施している「就農・定着応援プラン」は農業技術の指導にとどまらず、地域住民との交流や行事参加、住まいの確保など、生活面も含めた支援体制が整備されています。また、親方農家によるマンツーマンの指導や宿泊を伴う短期研修制度も設けられており、新規就農者が安心して地域に根付き、農業を継続できる仕組みが構築されてきました。

行政・地域・農業者が連携した実践的な支援体制の重要性を学ぶ視察となりました。



## 総務文教常任委員会

総務文教常任委員会は、7月8日、札幌市で開催された全道議員研修会に参加しました。

西南学院大学法学部教授勢一智子氏による「地方議会における議員の多彩化に向けてー地域社会の「鏡」としての議会を考える」、人口戦略会議 副議長 増田寛也氏による「人口減少社会を生き抜くために」と題した講演を受講しました。



## 議会を傍聴してみませんか

事前申し込みなど面倒な手続きはありません。お気軽にお越しください。

## 次回開催予定

### 第5回町議会定例会

9月24日(水)～26日(金) 開会予定です。

詳細については、

- ホームページ ● KOSHIMO ● 新聞折込
- にてご確認ください。

## 皆様のご意見・ご感想をお待ちしています。

- 編集 / 議会報編集特別委員会
  - 委員長 / 木戸 寛治
  - 副委員長 / 高谷 貴子
  - 委員 / 瓜田 新一・鬼塚 茂  
和田 彩・更科 浩司
- 議会事務局 ☎0152-62-4477 (直通)

## 議会日誌

7月1日～7月31日

- 2日 1市5町正副議長会議(網走市)
- 4日 東神楽町議会視察来庁対応
- 7日 令和7年度オホーツク圏活性化期成会建設経済専門委員会(北見市)
- 8日～9日 全道議員研修会(札幌市)
- 10日 香川県坂出市議会視察来庁対応
- 16日 山形県村山地方町村議会議長会視察来庁対応
- 21日 陸上自衛隊美幌駐屯地創立74周年記念式典(美幌町)
- 30日 議会報編集特別委員会
- 31日 令和7年度オホーツク圏活性化期成会夏季要望(東京都)

